

「友情は1400年の彼方から—四天王寺ワツソ」に万葉けまり出演

11月4日（月・振替休日）なにわの宮跡において「四天王寺ワツソ」が開催されました。四天王寺ワツソは古代のなにわを舞台に行われた、日本と朝鮮半島の交流の様子の再現した祭り。当時のものと推定される音楽と「ワツソ！ワツソ！」の掛け声とともに舟だんじりをひき、巡行してくるのを聖徳太子などの古代日本人に扮した参加者が当時のものと推定される作法で出迎える。その「ワツソ巡行」が始まる前のひととき、メインステージの後ろに設定されたプレステージで華やかな演目が披露されました。

その演目の一つとして飛鳥時代—大化改新によって新しい国づくりの発端になった蹴鞠「万葉けまり」が紹介されました。

演 目 ブ ロ グ ラ ム	<h3>プレステージ</h3> <p>(12:00~13:00)</p> <p>もうすぐ始まるワツソ巡行！ 期待に胸を膨らませて待つ 時間。華やかな演目をお楽 しみください。</p>	 <p>NPO法人奈良21世紀フォーラム 万葉けまり 鞠を蹴るゲームは飛鳥時代に始まり ました。奈良21世紀フォーラムは、 平城遷都1300年を記念して、この 古代行事を復元しました。</p>	 <p>白頭学院伝統芸術部 サムルノリ「夢舞」 伝統楽器ケンガリ・チン・チャング・ブ クを用いるサムルノリ。夢舞は、一人 ひとりの夢、平和への夢を躍動感ある 旗の舞や演奏で表現します。</p>	 <p>原笙会 女人舞楽「登天楽」 1400年前、我が国に伝えられた舞楽は、 日本最古の芸能と言われています。天に 向かい仰ぐような舞振りの登天楽を更 なる飛躍を祝う想いで舞います。</p>
	飛鳥時代—聖徳太子—			飛鳥時代—大化改新—

当日は昨夜の雨も止み、祭りに相応しい天気になりました。特別参加の落語家「林家染太」師匠と当フォーラムの「福嶋監事」の軽快な会話で、蹴鞠保存会の鞠子の皆様が演じる「万葉けまり」を紹介しました。参加の皆様は往時の貴族の遊びのひとつ蹴鞠を観戦していただき、楽しんで頂きました。鞠子のメンバーは奈良学園のご協力ですぐランドを利用させて頂き、強化練習を行って本番に備えましたので、「四天王寺ワツソ」本番は大いに練習の成果を発揮することができました。

